

「ヒト由来の認知症疾患病態蛋白が凝集・構造・毒性に及ぼす影響に関する研究」に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

ヒト由来の認知症疾患病態蛋白が凝集・構造・毒性に及ぼす影響に関する研究

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001年7月～2023年5月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、AD、パーキンソン病、Lewy小体型認知症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症と病理診断された方、および剖検で神経変性疾患を有しないと確認された健常対照者

●研究の期間

倫理委員会承認後から2027年3月まで

●研究の目的と概要

さまざまな神経変性疾患の脳に蓄積するタンパク質を抽出し、その凝集、立体構造、分子動態を調べることにより、認知症疾患などの疾患修飾薬の開発に寄与いたします。

●研究の方法

脳および末梢神経組織から、疾患により蓄積したタンパク質を抽出し、その立体構造を1分子レベルで調べ、凝集の動態について解析を行います。また、細胞毒性についても検討します。

●研究に使用する試料・情報

上記 疾患患者の脳および神経の凍結組織、パラフィン包埋切片。それに付随する臨床情報、病理所見（性別、年齢、死後時間、教育年数、疾病罹患歴、家族歴、嗜好歴、服薬歴、一般身体所見、神経所見、認知機能検査、血液・尿・脳脊髄液検査、生理機能検査、画像検査、病理学的検査など）

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子
金沢大学医学部 小野賢二郎（研究代表者）
国立精神・神経医療研究センター 臨床検査部 高尾昌樹
独立行政法人国立病院機構医王病院 脳神経内科 石田千穂

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター
高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）
電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）